

令和 7 年度 第2回能勢町地域福祉計画推進委員会 議事録

日 時	令和 7 年 11 月 6 日(木) 午後2時 00 分～4時 00 分
場 所	能勢町保健福祉センター 集団指導室
出席者	斎藤委員長・乾谷副委員長・黒島委員・瀬川委員・野木委員・松下委員・八木委員・桂委員・北委員 【計 9 名】
欠席者	三浦委員・宇佐美委員・今西委員 【計 3 名】
傍聴者	0 名
事務局	福祉部 寺内部長 健康づくり課 菊池課長 福祉課 大植課長・小豆島係長・森田主事 社会福祉協議会 森鼻係長 【計 5 名】
受託事業者	株式会社 HRC コンサルティング(2 名)
次 第	
<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 委員長あいさつ3. 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 関係事業所・団体等アンケート調査 結果報告について(2) 第 5 次能勢町地域福祉計画の素案について4. その他5. 閉会	

配布資料

1. 次第
2. 資料 1 能勢町地域福祉計画推進委員会 委員名簿
3. 資料 2 第 5 次地域福祉計画策定のための福祉関係事業者・団体アンケート
調査結果報告書
4. 資料 3 第 5 次能勢町地域福祉計画(素案)
5. 資料 4 第 5 次能勢町地域福祉計画(素案)の施策の体系及び施策の展開
(概要)
6. 資料 5 第 5 次能勢町地域福祉計画の策定に向けた今後の予定
7. 社協資料 「地域懇談会」実施の報告

【議事要旨】

事務局	<p>皆さんこんにちは。それでは定刻となりましたので、ただいまより、令和 7 年度第 2 回能勢町地域福祉計画推進委員会を開催させていただきます。皆様方におかれましては、ご多用の中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>それでは、会議の開催に当たりまして、委員長よりごあいさつを頂戴したいと思います。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>皆さん、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今日の資料、たくさんありますけれども、今日は 2 回目の推進委員会で、計画策定の素案が出てまいりました。また皆さんのご意見を聞きながら、能勢町の地域福祉を良くするための計画を作っていくたいと思いますので、ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>(配布資料説明)</p> <p>それでは、議事に入ります前に、本日、三浦委員、宇佐美委員につきましては、事前にご欠席のご連絡をいただきしておりますので、あらかじめご報告をさせていただきます。</p> <p>現在、本委員会の委員 12 名のうち、9 名の方にご出席いただいておりますので、委員会設置要綱の第 7 条第 2 項の規定により、本日の委員会が有効に成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、本委員会の会議につきましては、設置要綱第 7 条第 4 号の規定に基づきまして、公開となっております。</p> <p>それから、本委員会の議事録につきましても、後日ホームページで公開させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>また委員の皆様、ご発言に際しましては、マイクをお持ちいたしますので、マイクよりご発言をいただきますようお願ひいたします。</p> <p>それでは、案件に移らせていただきたいと思います。議題の進行につきましては、設置要綱第 7 条第 1 項の規定に基づきまして、委員長にお願いいたします。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>それでは次第に沿って進めてまいります。まず、(1)関係事業所・団体等アンケート調査結果報告についてということで、アンケート調査の結果を事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)

委員長	<p>ありがとうございました。ただいま、福祉関係事業者団体アンケートの調査結果につきまして、ご報告いただきましたけれども、何か委員の皆様からご質問、ご意見があればお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>住民アンケートについては前回ご報告いただきましたけれども、福祉事業者・団体の方は、より福祉に焦点が絞られたご意見をいただけているなど拝見いたしました。</p> <p>5年前と比べて、何か特徴的なものというのはあるのですか。大体同じような傾向なのかどうか。</p>
事務局	5年前の令和2年度が策定年度というところで、コロナ禍の影響がまだ色濃く反映されてなかったところがございます。説明ではあまりふれてはいないのですけれども、問6のニーズは今回のアンケートで新たにお聞きした項目であり、この設問については5年前との比較といいますか、ちょっと傾向が変わってきたところで見ておいた方がいいところと思っております。
委員長	<p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> <p>1ページの団体のイベントのことなのですけれども、地域住民が参加できるイベントを開催するなど、地域住民との交流を図っていますかというところで、交流していると回答したところが71.0%で、3割は交流していないと答えているということですね。次のページも似たような数字だったのですが、この3割というのはどういう団体なのかなという感じなのですけれども、それはアンケートだからわからないですか。</p>
事務局	38団体の中に、例えば保護司会があるのですが、活動を表立ってされるというところを控えたほうがいいという、団体としての思いもあることをお聞きしたことがあります。
委員長	<p>分かりました。団体の活動の特質というか、それが反映されているということですね。</p> <p>他はよろしいですか。</p> <p>またご意見があれば、ご質問いただいても構いませんので、次に移っていきたいと思います。</p> <p>そうしましたら、次に(2)第5次能勢町地域福祉計画の素案について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)
社会福祉協議会	(資料説明)
事務局	(資料説明)

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご報告がありましたけれども、大きく分けて 3 つあったと思います。</p> <p>まず 1 つは、資料 3 の 20 ページからの振り返りです。第 5 次計画を作るに当たって、現在行われている第 4 次計画がどうだったのかという振り返りをしましょうということなのですけれども、前回 7 月の委員会のときに、行政の中での評価というものを出していただいたのですが、やはり地域福祉計画というのが、行政の内部だけでの評価というのではちょっと足りなくて、住民の皆さんのが行政の取組に対して、どういうふうに評価をしているのかというのを含める必要があるのではないかというご提案をさせていただきました。</p> <p>そうしましたら、事務局の方で急きよ動いてください、47 ページにあります、能勢分校さんのご意見であるとか、それから能勢町の民生委員児童委員協議会の皆さんにご協力をいただきまして、第 4 次計画の振り返りを住民目線でやっていただく。住民目線と、若い人たち。若い人たちも住民だと思いますけど、若い人たちの目線で見ていただくと。これは、今回計画の中でとても新しい取り組みだと思いますし、それによって内容が豊かになったように拝見いたしました。でも、副委員長はじめ、関係の皆さんには急きよいろいろそういうお願いをしなければならなくなつたことをして、ご迷惑をおかけしましたが、大変申し訳ございませんでした。そういう皆さんのご協力のもとで、住民の声が入った振り返りというものができたというふうに思っております。</p> <p>その続きで、住民の声はもっと必要なわけで、別立ての計画として、社協さんがリーダーシップをとって、事務局を担って作っている住民主体の地域福祉活動計画についても、2 番目の話として社会福祉協議会からご報告がありました。</p> <p>これもまたすばらしいご報告だったと思うのですが、地域懇談会を 10 月 2 日に開催をしていただいて、私もお手伝いに伺いました。けれども 5 年前はコロナであり、みんなで集まって地域福祉を話し合うことができなかつたわけです。前回の懇談会の資料には、アンケート調査を各地域に対して行ったものがまとめて書かれていますが、この間の懇談会を拝見して、みんなで集まって地域のことを話し合うのはいいなと思わせていただきました。今回はふれあいセンターに集まって、地区ごとに、各グループに CSW の方も入っていただいてという形で開催をしました。だから全地域が一緒に集まって行つたのですが、その前は社協が地域に出向いて、各地区で 10 人から 20 人ぐらい集まつていただいて議論をしたという、そういうやり方をやっておられました。今回は、コロナを挟んで新たに行つたということで、1 つの会場に全地区の方に集まつていただいてやつたと。それと CSW の方に各グループに入つてもらったというのも、今回新しく行つた試みではないかなと思います。</p>
-----	---

	<p>また、このCSWのお話なのですけれども、認知度がまだまだ低いという声があちこちで出てきます。この間の懇談会のときにも申し上げたのですけれども、今、能勢町ではCSWが 6 人活躍しています。私の大学のある吹田市は人口約 40 万人で、40 万人のところに CSW が 10 人しかいないんです。そう考えると、能勢町は人口 9000 人のところに 6 人。かたや 40 万人のところに 10 人と考えると、いかにこのCSWが、能勢町の社会福祉の資源と言ったら失礼ですけれども、地域福祉の分野で活躍していただける可能性の高い、専門職であると申し上げたところです。だから、CSW のこれから働きというのも、次の計画に期待したいところだなと思わせていただきました。</p> <p>3 つ目のお話としてまた戻りまして、資料の 59 ページ、地域福祉の課題、行政がまとめた振り返り、民生委員の皆さんのお声、それから子どもたちのお声、それから地域住民の懇談会のお声を合わせて、行政の計画として地域福祉の課題ということで、59 ページから 60 ページにかけて、4 つの課題に整理をしていただいたという、そういう流れになっているかなというふうに思っています。</p> <p>私は事務局の皆さん、社協の皆さんが頑張ってくださったなと思いますのは、委員会の初めに申し上げたと思うのですが、地域福祉計画と地域福祉活動計画を別々に作っている自治体と、一緒に作っている自治体があって、大阪は別々に作っている自治体が多いのですけれども、全国的に見ると一緒に作っている自治体が多いです。というのは、内容がかぶる部分もありますし、行政と住民が一緒に作っていく計画だという色彩が強いことがあります。そういう意味で、能勢町の場合は別々で作っていますけれども、必要に応じて連携をしながら、意見交換をしながら作っていくプロセスを踏むことができているんじゃないかなというふうに思っている次第です。</p> <p>前置きが長くなりましたけれども、いかがでしょうか。皆さんの中にも懇談会に参加してくださった方がいらっしゃるかどうかということもありますが、どうでしょう。20、21 ページの振り返りです。それから民生委員の声、社協が今日出してくださった各地区の課題整理。先ほどのアンケートに戻っていましたが結構ですので、何かご意見ありましたら伺いたいと思います。どうでしょうか。</p> <p>副委員長にお伺いしてもよろしいでしょうか。民生委員の意見交流のときに、私は参加する予定だったのですが、行けなくなってしまいました。代わりに急きよ、副委員長に進行をお願いすることになりましたが、どんな感じで進まれたか、ご報告いただいてもよろしいでしょうか。</p>
副委員長	実は役員会の後半の部分で、約 1 時間程度、この件に関して話し合いをいたしました。

25 ページにまとめ的に上がっています。おおむね地域福祉計画を進めるうえで、皆さん内容まではよくわからないということで、この委員会で参画したのは私のみでしたから、他の方はあまり面的な問題はよく分からぬ。あるいは、計画書自体もあまり読んでもいいというようなことで、内容についてよくわからないということと、計画設計に当たっては地域住民の声を積極的に取り入れていっていただきたいということで、住民アンケートでは当然、それが反映しているわけなのですが、アンケート以外でもそういった機会がもしあるなら、いろんな機会を通じて、地域住民の声を反映してもらったらどうでしょうかと、おおむねそういうことだったと思います。

質問ではないのですが、気になったことで、45 ページの住民アンケートの下段で、民生委員・児童委員の認知度について聞かれております。2 番目が福祉委員について聞かれた。次の 46 ページはCSW について聞いているんですが、前回と今回の調査で数字が大変大きく増減しているというのが気になりました。というのも、設問が前回と今回と当然同じだとは思うのですが、民生委員の認知度が 50%から 70%に上がりました。大変うれしいですが、CSW を知らないという方がすごく減っています。減ったということは喜ばしいことですが、反面知っている方があまり増えていないし、これは一体どういうことかなと思いながら見ていました。地区福祉委員の存在は、4 割近くの方があまり知らないというのが出ていて、ちょっと悲しいわけです。私は民生委員も地区福祉委員も兼務している立場でございますので、これについては地区福祉委員会の中で意見を出し合って、いろんな方策を考えたいなと思っております。

それから、住民アンケートや事業所アンケートでも出ておりまして、このアンケートの課題の中でも含まれておりますが、59 ページに移動手段の確保ということで、大変大きなアンケートで数字が上がっています。それについて 1 つは課題ということで、いろんな整備についてもっと知ってください、あるいはもっと使ってくださいと、そういうことになってくるわけなのですが、その辺りの展開が 73 ページ以降に出てきます。その中で 1 点聞きたいのは、74 ページの地域が行うことの中の分担で、地域の支え合いを実践し、移動手段を確保するというのがあるのと、行政が行うことの下から 2 つ目で、移動手段における地域の支え合いの仕組みを構築する支援を行うということなのですが、この内容について、何をどうしたいのか明確な記述ではないもので、地域の支え合いを実践して、移動手段を確保する。これが何を言いたいのか分からぬ。仕組みを構築する、地域のやった交通手段を支援しましょうというのですが、内容的に煮詰めてもらったらどうでしょうかという点でございます。

委員長	<p>重要なご指摘ありがとうございました。</p> <p>次に、計画の第3章のお話で、行政がこれから何を行っていくのか、住民の皆さんが何を行っていくのかという話をしますけれども、せっかくですので、今の段階で副委員長のご質問にお答えいただいた方がいいように思うのですが、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>移動手段の確保につきましては、先ほど59ページを事務局から説明させていただきました通り、能勢町においても、路線バスの維持とか、乗合タクシーを令和6年度から運行したり、また社会福祉協議会では交通空白地有償運送等、制度的なものでいろいろと住民さんの足の確保に努めてきているところです。今回住民同士で、地域で支え合う実践というところですけれども、制度的なもの以外で住民同士の地域の活動において、助け合いで交通を支える仕組みができないのかなと。それを実現するためには社協とも行政とも連携をして支援をしていくというところは必要であろうなと。イメージとしては、以前、委員長から島根県松江市の方での地域の住民の活動に対して、社協なり行政が支援しているという成功事例があるということを教えていただきました。社協の事務局と福祉課の方で、一度現場を見に行けたらというところで、調整をさせていただいております。まだ今後どうなるか、それが能勢町で取り入れられるものなのかどうかというところからですけれども、そういうところの事例も見ながら、検討しながら地域福祉の課題ということで、福祉課として何かできることがないか、今、事務レベルで考えているところでございます。どうなるかというところはあるのですけど、何とか計画に実現できるように取り組んでいけたらなと思っていたところでございます。</p>
副委員長	松江の事例、説明があったかもわかりませんが、どんな話ですか。
委員長	<p>高齢者が多い地域で、やはり買い物や何かの足がないわけです。そこで、地域の定年退職後の男性がメインになっていますが、週に1回地域の方々を車にお乗せして、地域の近所のスーパーまで一緒にお買い物に行くという、そういうサービスです。重いものについても、玄関口まで持つていてあげるというサービスなのですが、でも人を運ぶということについては、かなりいろんな規制があって、ルールがあるので、住民がそういうことをやりたいと言つてもできない。だけど、やはり足を確保しなきゃいけないという住民の強い願いから、社協の皆さんや行政の皆さんが知恵を出し合って、県に交渉したりなんかして、そういう住民参加型の移送サービスを実現したという、そういう事例です。</p> <p>松江は遠いですけれども、おそらくこの近所にもいろんな買い物の足の確保というのは大きな課題になっているので、また私の方でも事例を見つけま</p>

	<p>したら、情報共有をさせていただきたいなと思います。重要なポイントです。ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、振り返りにつきまして、ご意見が特ないようでしたら、もちろん結果に戻っていただきても結構ですので、次に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、今若干、計画の方に話題が入ってまいりましたけれども、これまでの振り返りを踏まえて、次の 5 年何をやっていくかという、今度は計画の素案について、現状のご報告をいただき、また委員の皆さんからご意見をいただきたいと思いますので、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。振り返りを踏まえての、今後 5 年間でどういう能勢町の地域福祉を築いていくかという計画案について、ご説明をいただいたと思います。</p> <p>地域福祉計画は上位計画になっているということで、3 ページのところに書いてありますが、部門別計画で子どもの計画があつたり、高齢者の計画があつたり、いろいろありますけれども、その上に位置する総合的な計画であるという、そういう位置付けの計画だということを考えると、こういった施策体系ができるのではないかという案であるかと思います。何かお気付きの点がありましたら、ご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>3 つの基本目標「ともに助け合う」「地域で支え合う」「誰もが安心して生活できる」、3 つの目標といたしましょう。基本理念は「ふれあいと生きがいのあるまち のせ～助け愛(あい)、支え愛(あい)による地域福祉力の向上～」ということで、みんなで頑張っていきましょうという、意欲的な基本理念が挙げられているなという印象を受けました。</p> <p>全体を通してでも結構ですが、もう 1 回お持ち帰りいただきてじっくり見てもらって、これが抜けているんじゃないかというのはまた次回ご意見いただくことになると思いますが、今せっかくの機会ですので、ご質問などあれば。</p> <p>1 つ質問なのですから、能勢町は外国ルーツの住民の方というのは、まだそんなに多くないですか。</p>
事務局	100 名より少し多いくらいです。
委員長	増えているとかはありますか。
事務局	徐々に右肩上がりだったように思います。
委員長	そうですか。全く触れられてないなという感じなので、多様性の中に入れおいても良いのかなという気がします。

事務局	お答えさせていただいた通り、5 年前の計画策定のときから比べたら、町内の企業、事業所で働く方とか、施設で働く方というのも、人材不足ということもあって、徐々に増えています。外国ルーツの方を採用されてというところは現場としてあるのかなど。
委員長	いかがですか。施設で外国人の方は働いておられますか。
委員	今 2 人と、来年 2 人入られる予定です。
委員長	じゃあやっぱり、これから約 5 年間、増えていくことが…。 能勢町に住んで、能勢町で働いていらっしゃいますか。
委員	そうです。
委員長	ちなみにどちらのお国ですか。
委員	韓国とインドネシアです。
委員長	いかがですか。施設関係の方は他にいらっしゃいますか。
委員	現在はいらっしゃらないですが、過去に中国の方が 2 人いらっしゃいました。3 年間就労して、結婚して出られた方と、里へ帰られた方。今現在はいらっしゃらないです。
委員長	あと、例えば能勢町の場合だったら、農業とかの組合とか、工場で働いている方とか。どこかに、LGBTQ のところも、多様性のところか何かに一言入れておいてはいかがでしょうか。
事務局	今のご意見を踏まえまして、検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。
委員長	皆さん、福祉の現場で日々、ご指導とボランティア活動といろいろされておられると思いますが、何か気付かれたこととかありますか。 あとこれは次回の話になるのかもしれないですが、80 ページ、81 ページの計画の推進のところです。今計画の中で、住民の主体的参画、それから地域の役割、行政の役割というのが出てきましたが、それを今回やや慌てて振り返ったところがあるので、2 年目に 1 回振り返りを行うとか、1 年前に振り返りを行うのかというプロセスを忘れないように入れておいてもいいかなという感じがします。この PDCA サイクルで計画を立てたら、それを実行するのだけれども、ちゃんと実行できているのかなということを見ないと駄目です。今回は、住民懇談会で確認をしていただいたり、先日、民生委員児童委員協議会の皆さんに確認をしていただいたりとか、もちろんアンケートでもチェックはしています。それを反映して、活動して、また次の計画を立てる、そのサイクルを回していくという意識がすごく大事なので、そこが書かれているのだけれども、1 年前に振り返りを行うとか、具体的に入れてもいいかもしれません。
事務局	ありがとうございます。

	80 ページの 2. 計画の推進体制と、(1)住民・地域・関係団体等との協働による計画の推進の下から 2 行目、「また…」というところに、住民の意見聴取を行うなどというところを、今回反省を踏まえて加えさせていただいて、声を聞きながら、計画の振り返りをしていけたらという思いで、今回採用させていただいたというところです。先ほど委員長からありました、どの時点でというところをまた検討させていただきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。例えば地域福祉計画についても、まだ知らない人が多いという話がさっき出てきましたけども、計画ができたら、その計画についてみんなで確認するというのがあってもいいですね。計画ができたということで、活動計画の方もみんなで。集まって話し合った方々はご存知かもしれないけど、それ以外の方々はご存知ないので。
事務局	<p>事務局から 1 点補足をさせていただければと思います。</p> <p>内容といたしましては 75 ページになります。今回の能勢町の地域福祉計画においては、包含するという形で、能勢町自殺対策計画を包含させていただくということで、案の方を提示させていただいております。</p> <p>自殺対策計画というのは、能勢町では平成 30 年に独立した計画として作っていたところなのですけれども、地域福祉計画が親和性も高い、関係性も深いという計画ではないかというところで、今回の地域福祉計画を第 5 次に更新するに当たりまして、自殺対策計画というのを地域福祉計画に包含するという形で、今回案の方を提示させていただいております。</p> <p>また併せて、76 ページに移っていただいて、中ほどに、再犯防止計画というのもご提示させていただいております。こちらにつきましても、再発防止計画というところは、犯罪を犯した人とか、一方将来の更生を目指していくためにどうしていくのかという計画になるのですけれども、こちらについても地域福祉と関係の深い内容ではないかと考えております。</p> <p>能勢町においては、再発防止計画はこれまで独立した計画としても作ってこなかったというところがございまして、今回第 5 次計画の策定に向けて動いているところなのですけれども、新しい地域福祉計画には、再犯防止計画も能勢町では新たに作ってという形で、内容については地域福祉計画に入れさせていただいております。</p> <p>自殺対策計画については、施策の展開は 75 ページの四角の中に入れているのですけれども、再犯防止計画の方につきましては、72 ページから(2)生きづらさを感じる人への支援の中の施策の展開ということで入れさせていただいておりますので、ご覧いただければと思います。</p>
委員長	分かりました。2 つの計画を兼ねるというか、一緒にというか、地域福祉計画の中に含まれているという、そういう考え方でした。

	他にいかがでしょうか。
副委員長	<p>今、自殺対策計画 75、76 ページを福祉計画の中に含みますとご説明いただきましたのですが、72 ページの(2)生きづらさを感じる人への支援の中に自殺うんぬんの見出しが出てくるんですか。というのが、ずっと流れて来ていて、75、76 ページの自殺対策計画がここへぼつと差し込まれていて、違和感を覚えるんです。80 ページまで下げるとか。72 ページの項目の続きで、自殺対策の言葉がそこで出てきたらいいんですけど、あるようには思えないのがちょっとといかがなものかなと思います。</p> <p>それと、73 ページの交通支援の問題で、住民が行うことの最後の丸です。能勢町に、どのような公共交通機関やその他の移動支援があるかを知ると。この文言、ちょっときつくないですか。アンケートする上では当然、乗合タクシーがあるのはみんなご存知という前提なら、あえてここで知ってくださいという言葉がまだいるのかどうか。この辺りが気になっています。全く知らないと。ふれあいタクシーもある、乗合タクシーもある。そのことを知った上で、それ以上に不便を感じているのがアンケートの数値なのか。その 2 つの交通網を知っていますということであれば、ここに出てくる文言としてはふに落ちない点もあって、もうちょっと考えていただいたらどうかという気がします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>この文言というところは、住民により地域の公共交通機関とか、そういう事業所を使っていただきたいという思いで書かせていただいておりますので、ご指摘賜りまして、表現の仕方を考えさせていただきたいと思います。</p> <p>あと、自殺対策計画の掲載している位置ですが、(2)生きづらさを感じる人への支援の中に包含されるのかなというところで、この後に記載をさせていただいたところでございます。地域福祉計画に自殺対策計画を包含するのは、今回初めてでございます。先行してこのような形で計画を立てている市町村の計画とかも参考にしながら、ここがベターかなと思いながら、入れさせていただいたところです。またどのような場所がベターなのか、見やすいのか、住民が見てすっきりするのかというところの視点で、もう一回検討はさせていただきたいと思います。結果このままになるかもしれません、考えさせていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>よろしくお願いいいたします。他にいかがでしょうか。</p> <p>今日はたくさんの資料があって、ご意見も出にくいくらいの場面もあったように思いますが、またもう 1 回意見をいただく場がありますので、どうかまたお戻りになって資料をご覧いただいて、言い回しについて気付いた点でもありがとうございましたし、それから何か抜け落ちているところをご指摘いただいてもありがとうございましたし、ご意見を引き続きいただければと思います。</p>

事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>このように気付かれたことがありましたら、目途として、11月中に事務局までお伝えいただけましたら、ご意見につきましては、素案ではなくて、次の会議の案でご提示するところに、できる限り反映ができればと思っております。何かありましたら、11月中に事務局までご連絡いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
委員長	<p>そういうことですので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、その他で何か事務局からありますでしょうか。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。日程等について、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>そうしましたら、本日の議題はこれで全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>進行を事務局の方にお戻ししたいと思います。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>ではここで、副委員長より閉会のご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願ひいたします。</p>
副委員長	<p>本日は長時間のご審議お疲れ様でした。ありがとうございます。</p> <p>本日は事業計画のアンケートの結果、並びに第5次計画の素案について、ご審議を賜ったわけでございます。</p> <p>私毎回申し上げておりますが、この本計画から、住民の皆さんのがいかに幸せを感じていただくかが、この計画の重要なところであるというふうに認識をいたしている次第でございます。</p> <p>次回の日程も決まっておるようでございます。クリスマスでした。第3回目の本委員会が活発な協議の場になりますよう、お願いを申し上げまして、閉会の挨拶といたします。本日はお疲れ様でした。</p>
事務局	ありがとうございました。では本日の会議はこれで終了させていただきます。